

福島商業高等学校図書館だより

# みち草

令和6年度 第1号



[発行日]

令和6年5月13日

[編集・発行]

福島商業高等学校図書館

## 新体制発足！

4月に新しい学習環境へ変わって、はや1か月。新しい環境にも慣れてきましたか？  
今年度、福島商業高校図書委員会は、以下のとおり新体制が発足しました。  
これまで以上に使いやすい図書館を目指していきます！



### 【令和6年度 図書委員会役員】(Web版では氏名省略)

委員長： ●● ●● (3-5)

副委員長： ●● ●● (3-3)

書記： ●● ●● (2-5)

会計： ●● ●● (2-2)

●● ●● (3-3)

●● ●● (2-5)

よろしくお願ひします！



### 今月の特集欄紹介

「本屋大賞受賞作」を展示しています。  
新刊書のプロである書店員さんが本気でおススメの本を選ぶ、  
いま日本で最も影響力のある文学賞のひとつ。  
今年度の本屋大賞ノミネート作品だけではなく、歴代の「大賞」に  
選出された作品も合わせて展示しています。  
今年度大賞作『成瀬は天下を取りに行く』 宮島未奈／著 新潮社



## おすすめの新刊書

最近図書館に配置されたおすすめの最新刊書をご紹介します。

『誰も知らないジブリアニメの世界』 岡田斗司夫／著 SB クリエイティブ, 2023. 778/O

『風の谷のナウシカ』、『となりのトトロ』、『千と千尋の神隠し』など、誰しも一度はタイトルを聞いたことのある作品を多く生み出しているアニメ監督の宮崎駿氏。

愛に溢れ、感動を与える宮崎監督の作品は多くの人の支持を集めていますが、宮崎監督が作品中に様々なメッセージを隠していることを知っていますか。

本書は、アニメ評論家として著名な岡田斗司夫氏が、彼の考える宮崎駿論と宮崎作品の解釈をもとに、作品の中に散りばめられた宮崎監督のメッセージを解説しています。

もちろん、それぞれの人々が自由に作品を解釈する余地があり、岡田氏の解釈が絶対的に正しいことを保証するものではありませんが、ジブリ作品を新たな視点から楽しむ一助になる本です。



### ◎ 図書館ワンポイントアドバイス 「図書館記念日」って何？



この前、福商図書館に行ったら「5月は図書館振興の月」ってコーナーがあったよ。

4月30日が「図書館記念日」なので、それに合わせて5月を「振興の月」にしてみたいだよ。



### 学校司書の解説

4月30日は「図書館記念日」です。第2次世界大戦後の昭和25年4月30日に図書館の在り方を定めた「図書館法」が施行されたため、4月30日を図書館記念日と決めました。これに続く5月の1か月を「図書館振興の月」としています。

戦前にも「教育令」「図書館令」という法律がありましたが、日本の公立図書館を国の統制下に置くことを定めた内容となっており、結果的に図書館が国民を戦争へと駆り立てる思想統制の一助を担うことになってしまいました。

こうした反省に基づき、戦後の図書館は、図書館法の定めにより国民が自由に情報を得られる機関として生まれ変わりました。

今回は、このことについてもう少し詳しくお話しします。(司書)

